

都道府県名:鹿児島県 団体名:特定非営利活動法人バイオマスワークあったらし会

地域

伊佐市は、鹿児島県の最北部に位置し、北は熊本県水俣市、人吉市、東は宮崎県えびの市に、西は出水市と薩摩郡さつま町に、南は姶良郡湧水町に接しています。周囲は九州山系の余脈によって囲まれ、盆地を形成しており、盆地のほぼ中央を流れる川内川水系羽月川を幹川に、山野川、十曾川、牛尾川、水ノ手川、白木川、重留川、市山川などが蛇行形に走って羽月川に注ぎ、川間川、芋田川、白川川が、伊佐盆地を東西に流れている川内川本流に注ぎ、羽月下殿で合流しています。これら多くの水系を中心として、古くから県内有数の水田地帯となっています。

経緯

地域自然環境保全、バイオマスに対する理解を深めながらのバイオマス利活用の推進、関係団体などとの河川等の水質改善、観光資源の活用及び新しい地場産業の創出を目的として、平成17年に本NPO法人を設立し、旧曾木発電所の保存活用、遊覧船による川内川流域の活性化、宮人川ビオトープの維持管理による水質改善など、川内川流域を中心に活動しています。

功績内容

鶴田ダムのダム湖である大鶴湖を探索する遊覧船を運行し、年間数百人が乗船しており、曾木発電所遺構に触れるなどの船上体験を通じた水資源に関する普及・啓発活動を実施しています。

また、平成20年に完成した宮人川ビオトープの維持管理や大鶴湖の支流である宮人川において河川清掃及び木炭設置を関係NPO法人・流域住民・行政等と協力して行うことで、宮人川の水質改善・環境保全に貢献しています。

こうした河川の水質改善やダム湖などの地元の観光資源の活用により、川内川流域の活性化に資する活動を行っています。



遊覧船での船上体験



宮人川ビオトープ 草刈り



宮人川 清掃